



Vol. 04
2022

鈴木設計ニューズレター

Suzuki Architectural Design Office

「時代を越えた化学反応が
リノベーションの面白さ」

チーフデザイナー

阿部 佳耶

入社十年を迎え、主に福祉施設の意匠設計・現場監理を担当しています。私は大学から建築を学び、希望の設計職に就き現在に至ります。実務での設計は、考えるべき分野が多岐に渡り、その奥深さに悩み模索する日々です。しかし、常に挑戦が伴うやりがいのある仕事だと感じています。

数年前から、既存の建物を活かしながら内部を改修する「リノベーション」という分野を担当しています。リノベーションは既存の建物の魅力を保ちながら、今のニーズに合わせた使い方をするという建築手法で、新築にはない、時代を越えた化学反応が生まれます。時に、既存建物を扱うため、法手続きの難しさや、既存図面では確認出来ないような予想外のことがあったりと、思うように行かないことも多々あります。それを乗り越えた先に、自分の想像を超えた、リノベーションの面白さに出会えることを期待しています。



阿部 佳耶

やまがたクリエイティブシティセンターQ1

実施設計・現場監理

山形市

山形市は、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を機に、地域に蓄積されてきた世界に誇るべきクリエイティブのチカラを産業振興に活かし、地域の未来に繋げていく「創造都市推進事業」を進めています。そのひとつ、山形市立第一小学校旧校舎（＝旧一小）を創造都市やまがたの拠点として再整備する事業（＝Q1プロジェクト）が計画されました。

この山形市長が力を注ぐ「Q1プロジェクト」への参加は東北芸術工科大学の馬場正尊教授（OpenA代表）の要請によるもので、コロナ禍の中、当社が主体的に実施設計と現場監理を担当しました。

旧一小は昭和2年に建てられた山形県内初の鉄筋コンクリートの学校で、国の登録有形文化財となっているほか経済産業省の近代産業遺産にも認定されています。その貴重な当時の面影そのままに、カフェやアトリエ、コワーキングオフィス等が入った情報発信拠点として生まれ変わりました。

「Q1」は「キューイチ」と読み、「旧一小」をもじった愛称です。山形市民の誇りと愛着が息づいたQ1は、古くて新しいランドマークとなります。

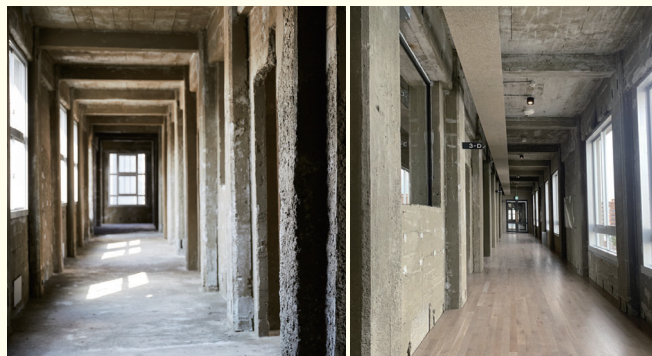
「山形の日常を、もっと楽しく、クリエイティブに」というコンセプトのもと、まちの魅力や産業を伝える革新的な施設を目指しています。

時代を越えて愛される建物の設計に携われる喜びを感じるとともに、ここから街、そして人がどのように変化していくのか楽しみです。

（阿部佳耶）



既存外観そのままに、EV 棟を増築して生まれ変わった Q1



改修前の廊下。廃墟のような雰囲気が漂う

改修後の廊下。改修は最小限にとどめ、当時の雰囲気を活かす計画としている



掃き出し窓から繋がるデッキと、催しが行われる広場

教室はショップやカフェ、美容室等に利用

○目次

- ・チーフデザイナー 阿部 佳耶
- ・やまがたクリエイティブシティセンター Q 1

○人物紹介

あべかや
阿部佳耶 / 新潟市出身 / 一級建築士 / 鈴木建築設計事務所 所員

2012.03 ~ 新潟大学大学院自然化学研究科環境科学専攻
建築学コース修士課程卒業

2012.04 ~ (株) 鈴木建築設計事務所で意匠設計・監理を担当

○やまがたクリエイティブシティセンター Q 1 の基本情報

所在地 山形県山形市本町地内
主要用途 事務所、飲食店他
敷地面積 4,827.10 m²
延床面積 4,962.97 m²
構造 R C 造 (一部鉄骨造)
階数 地上 4 階 / 地下 1 階

施主 山形市長
設計監理 OpenA
鈴木建築設計事務所 (設計監理協力)
安達 畑野 阿部
施工 愛和建设・株式会社たくみ (建築)
スズデン・電機鉄工山形 (電気設備)
黒澤建設工業・菱建工業 (機械設備)
山形市中央建具協同組合 (木製建具)
設計期間 令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施工期間 令和 3 年 7 月 ~ 令和 4 年 3 月

○お問い合わせ等

株式会社 鈴木建築設計事務所
Suzuki Architectural Design Office

代表取締役社長 藤原 薫



Instagram



ホームページ